

広丘地区タウンミーティング議事録(要旨)

○日時 2025/10/23 19:00～20:05頃

○場所 えんてらす

○参加者 29人

○説明者 市長、企画政策部長、建設部長、こども教育部長

○議事録(要旨)

※個人情報や個人が特定される内容などは省略しています。

市長

皆さん、こんばんは。塩尻市長の百瀬でございます。今日は二十四節気では霜降ということで、朝、本当にまさに霜が降りそうなそんな日でありました。夏が終わって秋がなくて、急に冬が来てしまった、そんな陽気でありますけれども、タウンミーティングを開催しましたところ、本当に一日のお疲れのところ、多くの皆様、ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。今週の月曜日、20日から開催をしております、今日が3地区目、塩尻東、片丘、そして今日が3回目の広丘を迎えております。今日、これから広丘の現状、そしてこれから予算編成が始まりますので、予算編成に向けた市の方針をお話をしていきたいと思っております。せっかくのこういう機会でございますので、来年度の予算編成にもつながるようなお話できればと思っておりますし、ぜひとも直球を投げただければ、私も受け取りやすいので、ストレートな忌憚のない意見を多くいただければ大変ありがたいと思っております。

※(省略)広丘地区の説明(別添資料)

※(省略)令和8年度予算編成方針について説明(別添資料)

まず初めに、区長様方からいただきました要望がございます。それについて若干説明をさせていただきますと思います。簡単な説明で大変恐縮なんですけれども、時間の都合です。要望では、通学路の安全確保ということで要望をいただきました。今日、地図の方にこういったところの箇所が危険と思われるので直してほしい、そういう要望をいただいておりますが、市にとりまして、やはり通学路というのは安全の対策を打っても打っても切りがないんですけれども、できうことはしていかなければならない。やはり子どもたちが安全に通学できるということは、それは市民の全員にとって安心安全につながることでございます。一方で、子どもの目線

で見えない世界というのがあります。そういったものをきちんと大切にしながら、通学路の安全対策は力を入れて進めていきたいと思っております。この点に関しては、建設部長から簡潔に申し上げますので、お願いいたします。

建設部長

私の方から、地元の方からいただきました質問内容について答えさせていただきます。まず、野村地区からいただいているところですが、本日のミーティングの配付資料の地図についているかと思っておりますけれども、この一番頭の2カ所の部分に待機スペースの部分と横断歩道ですとか歩行者の確認用のミラーを設置していただきたいという要望を受けておりまして、これにつきましては、本年度、通学路の合同点検を行っておりますので、その時の決定どおりですね。この待機スペースとカーブミラー等については来年度実施していくということで進めたいというふうに考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

続きまして市道の田川野村3号線ですね。丘中の前ところについても県道になるんですけれども、県の方は「事業用地退避スペースを確保できれば事業は実現します」といったお話を伺っておりますので、ここの部分の地権者の方にですね、合意形成をしていながら、この合意形成が整った段階で県の方にきちんと事業について要望していきたいというふうに考えておりますので、そういったことでよろしくお願いします。原新田、その下の部分に3カ所あるんですけれども、この部分につきましては、一応うちの担当と区長さんの方で一応現地の確認しておりますので、本年度の予算の状況にもよりますが、本年度予算、来年度予算を使いまして全て対応していきたいというふうに予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

その次に、ページをおめくりいただきまして、これについても原新田と区長さんとお話を伺っておりますので、これについても先ほど同様、今年、来年の予算で対応していきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして堅石区の部分についてですけれども、郷原の歩道の未整備部分、今ちょうど工事を進めているところですが、28年に説明会やった以降ですね、原新田の交差点から徐々に南へ向かって進めております。これについては、引き続き継続してできるように県の方に働きかけていくといったことで考えておりますので、よろしくお願いいたします。

あと、堅石区の中町交差点部分ですが、これについては中町交差点の部分から今村橋への市道の整備ということで要望をいただいておりますけれども、一応市の方針としましては、この交差点部分の改良を来年度以降、設計に着手しまして、工事の方を進めていきたいと

いうふうに考えておりますけれども、今村橋までの間の計画につきましては、まだ全体計画できておりませんので、皆さんご承知のとおり、国道19号の4車化等、いろいろ交通事情が変わってくると思われますので、そういったところを勘案しながら、きちんと計画を策定をして進めていきたいというふうに考えております。

次に堅石地区それぞれありますけれども、それぞれの部分については一応下の部分の堅石4の1、雨天時の排水不良については本年度もう対応済みとなっておりますし、それ以降の部分については区と一緒に現状を確認しながら、それぞれ対応していきたいというふうに考えております。

あと最後に、郷原地区の部分ですけれども、トンネル東側の交差点からの歩道がない部分ですけれども、これについても私ども再三再四、県の方へグリーンベルトの設置の方を要望しておりますので、引き続きこの地元要望があるということをきちんと伝えて、早急な整備を進めていくようお願いしていきたいというふうに考えておりますし、あと桔梗荘南の部分のスクランブル交差点化、ちょうどユメックスアリーナの部分の信号機になると思いますけれども、その部分につきましては、一応本年度ですね、地区の方から要望を受けておりますので、今後、来年度事業として行っていただけるよう、警察の方に私どもの方から要望をしていくといったことで進めたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いをいたします。以上です。

市長

今、建設部長からお話をしました。やはり通学路、道路整備全般にそうですけれども、ハード面の整備とソフト面、やはり今見守りも行っている方がいらっしゃいますけれども、やはり住民の皆さんの力あって、子供たちの安心安全というのは守られるのでございますので、ぜひとも引き続きお力をいただければと思っております。

今、市から一方的に説明しましたけれども、区長さん方で何か補足等ございますでしょうか。よろしいですか、では、次に進みたいと思いますけれども、タウンミーティングでございますので、御意見をいただければと思います。誰か口火を切っていただけると、あと続いていきますので、勇気ある方が第1歩を踏み出していただければありがたいと思いますが、いらっしゃいますでしょうか。お願いいたします。

市民

こんばんは。私は広陵中学校広丘小学校のコミュニティースクール学校運営協議会に携わっ

て、ちょうど今年で10年になります。この間、前教育長をはじめ、皆様には大変お世話になってここまでなって、年々コミュニティースクールも進化というか進んできておりまして、市長さんもそれぞれの学校のコミスク活動に参加していただいて感謝しております。私は今10年たってですね、このコミュニティースクールというのは、子供を中心に、あるいは子供たちの健全育成という意味で非常に重要な事業活動というふうに認識しておりますし、ここまで進めてまいりましたけれども、残念ながらこのコミュニティースクールがもちろん学校の管理者とか、私どもの学校運営協議会のメンバーとか、あるいは一部の父兄PTAの方とか知ってはいるんですけれども、まだまだ市民あるいは住民の方々に知れ渡っていない、よく認知されていないんですね。ですから、要は、今日ちょっと要望というか、申し上げたいのは、このコミュニティースクールという非常に市でも重要な政策の一つに位置づけておりますので、この市民に対する啓発活動、あるいは広報活動をさらに進めていただいておりますけれども、もっともっと進めていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

市長

貴重な御意見ありがとうございます。コミュニティースクールであります、市も力を入れて取り組みを進めておりまして、やはり長い期間続けていくうちに、どんどん新しい発見とか進化が常にあるものと私も理解をしております。やはり関わる人が多ければ多いほど、それだけ大きな成果が生まれるのがコミュニティースクールだと思っておりますし、今ご指摘がありましたとおり、そもそも知らない方とかもいらっしゃると思いますので、広報を通じたり、さまざまな場面でコミュニティースクールの取り組みをPRしていきたいと思っております。

やはり子供が大きくなってしまった世帯とか、そういう世帯にとっても学校とつながるというのは、地域をつくっていく上では学校ってシンボリックな存在でありますので、大事なことだと思っておりますので、意見を踏まえて前に進めていきたいと思います。ありがとうございます。

市民

先日、丘中学校の総合学習のところに私と副区長で行きまして、子供たちが空き家対策の一環として、コミュニティホール的な扱いで丘中の生徒さんが年寄りとか地域の人とコミュニケーションをとれるような対応をするようなもので、空き家を活用していきたいというようなことが出ておりまして、すばらしいアイデアで6グループぐらいあったんですけれども、大体同

じように地域のお友達、それから年寄りと子供たちとお年寄りが接触することによって地域コミュニケーションがうまくいくんじゃないかというようなことで、空き家対策でいきなり空き家を貸してくれというのはなかなか難しいところもあるんですけども、とりあえず全ての考え方を実践していくということで、集会所とか公民館からまず練習的にやってみたらどうかという案出したんですけども、空き家でそういった活用ができるようなところがあれば、生徒の方にも紹介していきたいなと思っているんですけど。以上です。

市長

はい、ありがとうございます。今、空き家を活用したコミュニティということでお話をいただきました。そういった空き家の活用が大事だと思っておりますし、空き家をとりますと、広丘の中でも市街化区域の中の空き家はまだまだ流動性があるんですけども、調整区域の空き家というのはなかなか活用が進んでいきません。今の丘中の生徒さんたちが空き家の活用というところでありますので、私どもの空き家補足しておりますので、今、広丘地区で空き家調査が古いんですけども、96件、もっと今ふえているかもしれませんが、ということをとらえておりますので、私どもで把握している空き家の中で、ちょっと丘中の周辺、調整区域のところもありますので、使えるような空き家があってコミュニティとれるような、そんな活動も検討していきたいと思っております。

他の地区におきましては、空き家をお試し住宅にして、そこで来て、仮に住んだ方がそのまま定住するとか、そういう事例もあります。空き家の問題、今、全市的な問題になっておりますし、活用大事です。特に子供たちの意見というのは大事にされていて、子供たちの意見が形になると子供たちって心に残る思い出に残りますので、そういう取り組みを進めていきたいと思います。

市民

高出に住んでおります。地区センターの6日の日、都合が合わなくて参加できないので、こちらに参加させていただいております。市長さんのマニフェストとかを拝見しまして、子供に関する項目というのも45項目ほど上がっていたりしまして、それらの実現もされているというようなところを、ホームページの情報ですけども、見させていただいております。

私、個人的に里親登録をしております、その立場からの発言ということになりますけれども、実際に子供たちのためにですね、施設の拡充ですとか、支援を含めた金銭的な支援という

ところも確かに大事なかなと思うんですけれども、今、国ですとか長野県の方がですね、社会的養育推進というところも進めているというのを研修会等で聞いています。その中で、困る子供を生まない、困った子を助けるというよりも、困る子供を生まないというところで、予防的環境づくりみたいなお話を講話も含めて聞いておりまして、私もそこに賛同するというか、重要なかなというふうに思っています。その中で、近所だとか地域、先程の資料にもあったように、やはり子育てする親御さんのサポート、子供だけではなくてですね、サポートをしながら精神的なご負担みたいなものを軽くできる仕組みが必要ではないかなというふうに思っている次第です。特に私が住んでいる高出だとか広丘地区というのは、宅地化が進んだりして、言い方は変ですけども、地元ではない不慣れな場所で子育てをされているアウェイ育児と呼ぶらしいんですけれども、そういったご家庭も多くなっているのかなというふうに思っておりまして、例えば親御さんが急に病気になられたりですとか、困ったなというときに面倒が見られないときというのが、今でいくと県の窓口であったり、下手をすると児童相談所みたいになっちゃうかと思うんですけれども、できれば塩尻市としても、今日、運よくこども教育部長さんもいらっしゃいますけれども、こども未来課とかが中心となって、ファミリーサポート事業だとか、子育て短期支援事業みたいなのも里親の方にアンケートきてましたので、そういった形で、数も少ないのかなと思うんですが、市内の登録されている里親さんとか、そういった関係者を交えながら、人の力を生かしたような支援というところも考えていただければ、仕組みですねお金をかけるというよりは、仕組み、制度みたいな話なんですけれども、というふうに思ったりしております。

地域の皆さん、他から転入されてきた皆さんが安心されてというところも含めてですね、地域で人がつながりながら子育て環境づくりというところを、もし市でも強力に進めていただければということで、今日ここで発言させていただければというふうにしてまいりました。

市長

貴重なお話をありがとうございます。まず一つ要望でございました、里親の皆さんの横のつながり、そういう場はきちんと整えていきたいと思っております。今もあるかどうかはまた後ほどお話しさせていただきますけれども、同じ活動をしている皆さんが横でつながってネットワークをつくって取り組むというのは、一人で取り組むよりも全然効果が上がりますので、そこは早急につくっていききたいと思っております。あと今、育児のお話がありました11月、児童虐待の防止の対策の強化月間であります。私もオレンジリボンをつけておりますけれども、やは

り育児で抱える悩みをどう声に出して言えるかいわゆる潜在化しているものを顕在化、表に出せるかというのが虐待を防止する上でも非常に大事であります。そういったことに関しては、親が当然発することができない場合、周囲にいる皆さんがいかに関心する環境をつくっていくかが非常に大事だと思っております。

市としまして、令和6年度の上半期と令和7年度の上半期、児童虐待の相談件数を比べますと、870件から980件と増えているんですけれども、それも結構前向きに捉えていまして、いわゆる何か悩みがあれば声を発していただける子育て世代、いわゆるアウェイ育児をされている皆さんとかが声を出せるようになっていきたいと思いますので、そういった育児の悩みを一人で抱えない、そういうまちをしっかりとつくっていきたいと思っております。そして、里親という制度で育てていただく、それは非常にこれから大事になってきますので、そのつながりができるような取り組みを進めていききたいと思います。現在の里親の取り組みについて補足があれば、こども部長の方で。

こども教育部長

どうもありがとうございます。里親さんにつきましては、県の登録制度になっておりますので、基本的には個人情報が市の方で全て把握できているかという、なかなか難しい状況にあります。市ではできなくても、県と連携をしながら、市内の里親さんを集めていただくということが可能だと思いますので、非常に重要な事だと思っております。里親さん、本当に今、なり手がなくて、里親もいろいろな種類があります。週末だけ見ていただく里親さん、小さい時期だけを見ていただく里親さん、また里親をやりたいと言っても、その方が1年、2年かけて研修をされても、最終的に里親になれなかったということもあります。いろいろな意味で行政もサポートしていかなければいけないと思っておりますし、また、子育て支援についても、市ではこういうことをやっているよ、ああいうことをやっているよと言うんですけれども、なかなか周知ができていないというのがあります。

本当にサポートのスキームができていなくても、支援制度としては先ほど言われたファミサポだとか、いろいろな制度がありますので、それをしっかり周知していくのが、市が今足りていないところかなと思っています。しっかり周知を進めていながら、県としっかり連携できるようにしていきたいと思っています。ありがとうございます。

市民

よろしいでしょうか。ありがとうございます。11月8日には、たまたまですけれども、県の里親の総会がえんぱ一くで市の協賛が何か入っているかと思うけれども、ございますので、またそこも利用していただいたりして、できればですね、役所の皆さんと我々のような活動をしている者が顔見知りになれば、より活動しやすいかと思うので、引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

市長

ありがとうございます。ぜひ、今日顔見知りになっていますので、しっかりと市も進めていきたいと思います。ありがとうございます。

市民

原新田に住んでおりますが、大手事業所の周りの渋滞、朝と夕方の渋滞がやはり原新田から、例えば片丘とかあっちのほうに行くときに、まず家を出るときにどちらの方向に行けばいいっていうのを毎回考えなきゃいけない。例えば片丘の方から朝見下ろすと車列がものすごいことになっていて、抜け道を探しながら皆さんが通っているのを見えるので、ぜひそういう意見交換の場があるのであれば、事業所ともぜひ話を進めていただいて、特にこれから冬に向けて、あそこに約3000台が止まるんだそうです。あそこの人たちがみんな暖気を始めると、丘中も近いですね。丘中の子供たちがあそこを通るのに、排気ガスの臭いがするというような話で、やはり私たちが気づかないようなところで子供たちにも影響が出ているということを考えると、やはり大事な企業でもあるので、共存していく意味でもぜひ前向きな意見を交換していただければと思います。よろしくお願いします。

市長

貴重な御意見ありがとうございます。事業所周辺の渋滞について私どもも把握をしております。特に朝来るときは時間が重なってしまっていて、夜はある程度は分散できるのかなと。この前も広丘で交通安全の街頭啓発をやった後も、職員が見に行っていて、状況等も把握しております。渋滞の解消に向けた取り組み、道路整備も含めて進めていきたいですし、もう1点ございました暖気による影響も、車の台数が多いがゆえになお一層あると思いますので、そこは事業所にもきちんとお願いをして、子供たちも通学するところであるので暖気とか控えるような、

いわゆる本当に共存できるようなまちをしっかりとつくりたいと思います。ありがとうございます。

あえて私の夢だけ語らせていただければ、私は今、事業所の向こう側に新たにまた工業団地をつくる予定をしておりますけれども、その先にはあそこの高速のところにスマートインターがあるのが一番いいのかなと思っております。塩尻北インターも渋滞しますし、今、岡谷ジャンクションの工事もやって、塩尻インターも大渋滞しています。最終的な解決策が、ちょっと長いスパンの話になりますけれども、そういうところにあるのかなと思っておりますので、これは今ちょっと自分の中の夢になっていますけれども、そういったことも叶えていくのがこの広丘のまちづくりに寄与するのかなと思っております。ありがとうございました。

市民

それに関連しまして、お願いがございます。今日配付された資料の野村地区の待機スペースの確保のところで前向きに考えていただいて大変うれしく思っておるんですけれども、それから北のルート、市道田川野村13号線というんですか、そこのところなんですけど、実はこの道は吉田地区の子供たちが歩く子供と自転車通学する子供、両側に分かれて使っています。朝と帰りです。これから心配するのは、ここ雪かきしていただくんですけれども、その雪かきが両側に分かれてしまうと、子供たちが歩くスペースが全くなくなってしまいますので、そこら辺をちょっと配慮していただければありがたいかなと思っています。

そう思っているのは、先ほど原新田の方からも出ましたけど、事業所の車も結構あの道通ります。自分もその近くに住んでいるんですけど、なかなかその道に出ることができなくて、そういう時間帯は避けて出るようなことをやっているんですけど、子供たちも一番通る時間に通学したりしてきますので、そこら辺の安全確保を優先的にしていただければ大変ありがたいかなと思っています。とにかく丘中学校の子供たち、いつも危険にさらされている状態で、どうも市で一番子供たち、生徒たちの事故が多いというようなことも聞いていますので、ちょっと重点的にやっていただければ大変ありがたいかなと思っています。よろしくお願いします。

市長

貴重な御意見ありがとうございました。今の野村13号線でありますけれども、ここは私もかなり抜けるために通過交通の多い、そういうルートだと思っておりますし、幅員も広いわけではございません。除雪は、そこはこれから除雪入る業者とも調整をしておきますし、そもそもそ

れ以外のときでも安全対策が図られるように、どんな対策がいいか、今状況は聞きましたので、対策はしっかりとりにいきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

原新田です。通学路の安全確保についてです。通学路への樹木のはみ出しについてなんですが、6月、7月ぐらいになると、どうしても生け垣が青々としてきて、小学生が車道側に膨らんで歩かなきゃいけない、もしくは交差点で視界を妨げてしまうというようなことがあって、基本的にはその時期に回覧文書を出すと、多くの住民の方は協力をして剪定をしてくださるんですが、どうしても慢性的にそのままにされてしまう家もあるということで、常会長さんが出向いていってお願いをしたりしてくれているんですけども、どこまで刈り込むことが必要なのかというようなところで、そこを双方にストレスがたまるようなケースもあります。何かあれですかね、樹木のはみ出しについて公的な議論をするときによりどころになるような、何かガイドラインのようなものってありますでしょうか。

市長

今、樹木のはみ出し、ありがとうございます。樹木のはみ出しは、区長さんとかもいろいろなお話を聞くとするんですけど市にも直接やはり写真も添えて、ここは危ないから市で何とか行って切ってもらってくれみたいな要望をいただくこともあります。今、公的なとか何かいわゆる根拠、論拠になるものがあるかということでございますけれども、ちょっと建設部長の方から話をします。

建設部長

2023年の4月から民法改正になっていまして、場合によっては、今道路の話ですので、道路は道路管理者がはみ出していた樹木を切ることが可能となっております。法的にはですね。手続はいるんですけども。なので、そういった部分を使えば法的にはできるんですけども、やはり私ども実際はですね、合意形成でお互いが納得した上で危ない部分については木切ですねその枝を切る、切除するという形をとっておりますので、地区の方も言いづらい部分もあるかと思っておりますので、そういう部分はぜひ道路管理者である私どもに話をしていただいて、私どもがその権利者の方とお話をして、安全対策の方を講じていきたいというふうに考えてお

りますので、ぜひそんなことで対応していきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。

市長

ありがとうございます。今申し上げましたとおり、今、私どもの仕事の一つに、区長さんの仕事、区の役員さんの仕事を減らすというのも大きな仕事の一つでありますので、ぜひ区の方で抱えなくて、今、部長申し上げましたとおり、市に言っていただければ市の方で動きますので、お気軽にご相談ください。ありがとうございます。

市民

いいお話ありがとうございました。郷原街道も結構木が出ておりまして地区の方から、雪降ってきたら車にぶつかったらどうするだとか、あるいはその雪の重さで木が倒れたらどうするだという話は結構きておりまして、特にこれまでのシーズンは雨が降ったりして結構その枝も垂れてきたりしまして、それをシルバーにお願いしようとする、シルバーは高い木はできないということで、建設課の方にも相談したんですけれども、今のようなことでいただきましたので、ぜひまた要望を出しますのでお願いしたいんですが、それでそういったシルバーができないときに、例えば住民が区民が業者に頼みたいとき、お金がかかっちゃうんですけれども、その辺の補助金とか、難しいかもしれませんけれども。

それから、補助金の関係でもう一つお願いしたいのは、今こういう立場になったときに、本当に毎日区民からいろいろな御要望をいただいております、いや区長って大変な仕事だなと思っているんですけれども、その内のもう一つ大きいのが、堅石郷原街道の西側と東側には江戸時代から続いている生活用水路とありまして、琵琶橋から引いてきた用水路がずっと両方の住宅の中を流れているんですけれども、当時30センチぐらいの幅のU字溝を市の方から支給されて、それを住民がそこに埋め込んで水路をつくりなさいということでやっていたんですけれども、全国的な最近の豪雨によって溢水が氾濫しております、その対策に苦慮しているんですけれども、過去の役員経験者の中にもお話を聞いていますと、毎年毎年話が出ているということなんですけれども、そこに結局U字溝の高さが足りないものですから、コンクリート等で補強してU字溝の高さを上げたいという人もいまして、その辺のU字溝の補強用のコンクリートを支給していただければ、そういう問題も解決していくかなと思っておりますけれども、そのような補助金、あるいは現物支給につきましても、今すぐできないかもしれま

せんけれども、ぜひ前向きに考えてもらいたいということで、関連した質問です。ありがとうございます。

市長

まず、補助金に関しましては、あくまでも大原則は所有者の方が適切に管理をして切っていただくことが大前提でありますので、補助金を出すと逆に補助金頼みになってしまっていて、本末転倒になるのかなと、そういうことも懸念されますので、慎重に検討させてください。また堰の話がありますが、そこは現地を見させていただきまして、また太田井堰とはまた違う堰があるわけですね。太田井堰から入ってきている支線みたいな堰があるわけですね、わかりました。また確認をさせていただきながら、民地でもありますので、対応がどこまでできるかはありますが、見ていきたいと思います。御意見ありがとうございました。

市民

原新田です。私、個人的なことになっちゃうかもしれないけど、生活クラブっていうのに入ってまして、塩尻に来てもう30年近いんですけども、前のところから生活クラブに入っていて、助け合い制度っていうのがあるんですね。それでここに来て、仲間で塩尻市のメンバーだけ、会員だけなんですけども、みんなで助け合いをする、子どもを見るとか、いろんな歳、私ももう後期高齢者なんですけども、助け合えるような形をつくろうと思って、来年の3月までに立ち上げようと思って今進めてるところなんです。こういうこともちっちゃいことなんですけども、ただ生活クラブに入っていたかかないと困るっていうこともなるんですが、ただ人員がそろったりとかどういう形になっていくかはやってみないとまだわからないというところがあるんですが、私も看取り士っていう学びをしていますものですから、高齢者の方たち、自分と同じ仲間の中で、私自宅でも実はそういうカフェみたいなことを自宅を開放してやっていて、自分の知る範囲だけの方たちの声かけなんですけれども、いずれは地域の人たちにも来ていただいて、一緒に考えていきたいと思いますということをやっていきたいと思ってはいますので、またこんなこともやっていることだけでも、ここに来ていただいた方たちで知っていただければよろしいかなと思ひまして発言させていただきました。

市長

ありがとうございます。生活クラブ様とは、2016年の9月21日に塩尻市でありますけれども、包括連携協定も結ばせていただいております。そういった中に、助け合いクラブというクラブ活動も今されているということでありますので、連携もまた来年10周年を迎えるわけでございますので、そういった連携の中でぜひ協力して市民の皆様の豊かさとか幸せにつながる、そんな取り組みもできたらと思います。貴重なお話をありがとうございます。また相談をさせていただければと思います。ありがとうございます。

市民

原新田区に住んでいるんですけど、家の近くに郷原街道があるんですね。郷原街道で、車通りがかなり多い街道になっているんですけど、歩道がでこぼこで、なおかつガードレールとかの車道と歩道を分断するような安全装置がかなり少ない状況になっているので、通るたびに危険だなと思ったりするんですけど、個人の願望になってしまうんですが、そこを整備してもらいたいという意見があります。

市長

貴重なご意見ありがとうございます。今も片側交互通行をしてご迷惑をおかけしておりますけれども、歩道の整備を順繰りに進めておりますが、ガードレールをつけて車道と歩道を分けることがなかなか道の広さ、あそこ古くからの街道が道になっている、そういうところありますので、厳しい部分もあるかと思います。私よりももっと深いところを知っている部長がいますので、そこら辺今後の、ちょうど今工事をやっているあたりが、いわゆる堅石と原新田の境みたいなところになりますので、順繰りにやっているわけですね、計画的にそんな工事の状況が、ちなみにまだご自宅の前はこういう歩道のままという、そういうご理解でよろしいですか。あと、道の東と西でまた工事の進捗が違いますので、工事の関係説明をさせていただきます。

建設部長

はい、貴重なご意見ありがとうございます。確かに見ての通り、道も狭くて歩道もそんなに広くないというのは承知しておりますし、ここにいる皆様からもよく言われています。また、学校の通学路合同点検なんかでも非常に危ないということで言われておりまして、どうしてもそ

の歩道を広げたいといったときには、そこに張り付く地権者、住宅の皆さんたちに協力していただかないと、なかなか歩道を広げていかれないといったところもありまして、今の状況になっております。そういったことで、できる限り安全を確保しようということで、今の歩道はかなり大きな昔よりも大きな縁石をつけて車飛び込まないような形で整備を進めていますけれども、なかなか県道ということで、塩尻市じゃなくて長野県の方で工事を進めていただいているんですけれども、予算の都合上、数10メートルずつしか進んでいないのが現状でございます。私どももできる限り子供の通学路ということで早急に整備を進めていただきたいということで、市長を含めてしっかりと県の方には整備を進んでいくように要望させていただきますので、そんなことでご理解をいただきたいと思います。

市長

今、部長の方からもお話ししましたが、市もしっかりと県にも要望していきますし、あの郷原街道につながる市道、横の道は市の道なので、ちょっと入り口が広がったりとかね、そういう道もできております。事故がなく、安全に安心して歩ける環境というのは非常に大事でありますので、今のご意見を踏まえて、より一層力を入れて進めていきたいと思います。

市民

こんばんはよろしくお願いします。広丘野村で放課後等デイサービスというものをやらせていただいています、NPO法人オハナという事業所です。とても小さな事業所なんですけれども、場所は犬飼スポーツさんのところのカーブの道をくねくねと行っていただいて、300メートルくらい行ったところにあるんですけれども、そこで障害や発達に心配のあるお子さんをお預かりしています。小学生から高校生までのお子さんたちです。主に放課後と長期休業をお預かりしているんですけれども、これとっても国の方から出される条件というか、とてもだんだん厳しくなっていて、今、事業所の存続がとても難しいなというところで、本当にあたふたしているところなんです。

一つは、お一人のお預かりであっても、3人の支援員がいなくてはいけないその3人は資格があつて常勤ではなきゃいけないってとても厳しい制約がある中で、その制約も24年度にまた新たに国から出されたものなんですけれども、とても厳しい中でやらせていただいています。ただ、子どもさんと過ごす時間はとても楽しくて、私たちも日々勉強させていただきながら支援させていただいているんですけれども、そんな中、福祉課の皆さんには本当に協力いただい

て、細かいところまで本当に相談させてもらおうと、親身になって事業所に来ていただいたり、本当に助けていただきながら今やっているところです。そんな中で、もちろん事業所の存続についてもぜひぜひ協力をいただきたいところなんですけれども、直面しているところが、子どもさんたちが遊べる場所がないということなんですよね。公園にしても、やっぱり遊び方のルールが皆さん健常と言っていいのかどうか普通校に行っているお子さんたちとずれてしまうことがあったり、ルールが守れなかったりそんな中でインクルーシブ遊具というのがスカイパークのところに設置されて、それも使わせていただきながら遊ばせていただいているんですけれども、やっぱり雨の日とか雪の日とか、本当に遊ぶところがなくて、うちの事業所はとても狭いんですよね。なので、えんぱーくとかえんてらすさんのところに遊びにこさせていただくことが多いんですけど、できれば先日も、このえんてらすの中にある小さなお子様が遊ぶ場所があって、そこを貸していただけないかというお話もさせてもらったんですけど、やっぱりそこは目的が違うのでというふうに言われて、やっぱりだめだったんですよ。そういうふうにあっちもこっちもお願いをしているんですけど、なかなか利用させていただけなくて。

そんな中、ふれあいセンターの社協さんのところとか、あと放課後の児童クラブ、学童保育のところも空いているときはいいですよという、お声がけいただいているんですけど、なかなか子どもさん、他の子どもさんたちと一緒に遊ぶっていうのが難しくて、児童館も150名の皆さんを受けているので、その中で発達につまずきのあるようなお友達は、その中で一緒に安全を守れないというお話があって、なかなか一つ一つが進んでいかないのですよ。なので、ぜひ市の方でも協力していただいてこの放課後等デイサービスをやらせていただいている事業所は、塩尻、朝日、山形の中で8カ所ぐらいはあると思うんです。本当に皆さん同じ悩みを抱えていると思うんですが、狭いうちなんか特に遊ばせてあげる場所がないということで悩んでいるので、ぜひぜひそんなところを協力いただけたらありがたいなと思います。放課後等デイサービスの様子も、市長さんにぜひぜひ来ていただいて、子どもさんたちの様子とか支援員の様子とか見ていただければありがたいなと思っています。なので今日はこの会に参加させていただきました。よろしくお願いします。

市長

ご意見ありがとうございます。今放課後デイサービスでありますけれども、やはり市は非常に足りていない、そういう状況があります。今、オハナさんの場所拝見させていただきますと、やはり原新田の住宅地の中にあるところで、近隣にはポケットパークみたいなところも少ない、

そういう一番古くからの原新田の中にあるなと思っております。その中で、放課後デイサービス状況の大変なところはわかっているんですけども、なかなか解決ができないところありますけれども、そのちょっとした市の施設であったり、何か使えるようなところがあれば、そこは連携をしながら進めていきたいと思っておりますので、今いただきました話を受けていきたいと思っております。

放デイを利用したい方というのも今すごく増えている状況でございます。そういった需要に対してきちんと支援が打たれているかという、そういう状況ではないというのも理解しております。すごく経営が放デイって厳しい中にあります。ここは、一つは今の放デイ市の中でやりやすくするのが一つですし、もう一つは国に対してもしっかりと現状をお伝えをして要望していくのも私の仕事の一つでありますので、そんな声を届けていきたいと思っておりますので、放デイに関して補足的なところがあれば。

こども教育部長

ありがとうございます。こども教育部としても学校でも、多動と言いますか、動きが激しくてなかなか、普通のクラスでも35人いる中で一人そういう子がいて、なかなか授業がうまくいかないというケースもたくさんあります。それによってクラスがうまくいなくて不登校が出てしまうみたいなこともあって中々個々の対応が進んでいないのが事実であります。市長も言っていました、放デイも足りない。放デイが足りない部分を学校が終わったら児童館へという流れがあります。放デイへ通う子どもたちを児童館へというのもそもそも無理があります。児童館でもマンツーマンで見ることはできないので、なかなか先ほど言われたように夏休みは150人くらいが広丘も人いますのでその中で受け入れるのは無理があるという。受け入れていただいけるところがないかどうか探しておりますし、色んな施設に対しても先ほど言われたように放デイは、公定価格が本当に人件費低いんですね。1人に対して3人の指導員って言っても、なかなか人もいない。お金も安い。なかなか手がないと。本当に三重苦みたいな形で不満が出ているのも承知はしておりますので、色んな意味で働きかけをしていながらできることはやっていきたいと思っておりますので、協力いただければと思います。ありがとうございます。

市民

ぜひよろしくをお願いします。そしてもう1点、そうはいいいながらも、地域の皆さんには本当にご理解いただき、ご近所の皆さん、本当に物を投げてしまったり、大きな声が出たり、そんなこ

とも重々承知してるから大丈夫と言ってくださって、とてもありがたく思っています。なので地域の皆さんには本当に感謝でいっぱい、えんぱーくやえんてらすの皆さんも、声が出てしまっても走ってもいいんだよ、誰でも使っていい場所だからねって言うてくださるんです。なので本当に塩尻のこの場所でやらせていただいていることがとてもありがたくて。本当に言うてはいけないかもしれないですけど、松本市の方に行くと、利用控えてほしいって言われてしまったこともあったので、その点は塩尻市さんにはとても感謝しています。障害があってもなくても、みんな地域で当たり前みんな同じように暮らせるっていうところでは、とても近いところにいてくれていると思っているので、ぜひこれからもお力を貸していただければと思います。お願いします。

市長

受け取りました。私どももやはり子どもたちを育てていく上では、皆さん方の協力がないと、子どもを育てていくことができませんし、子どもが育つということはまちにとっては一番大事なことでございますので、しっかりと力を入れていきたいと思えます。また、いろいろな話がありましたので、お気軽にご相談いただければ私どももしっかり動きますので、ぜひよろしくお願い致します、ありがとうございます。

お時間もありますがまだどなたかございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは時間でもありますので、もう私あいさつしてしまってもよろしいですかね。はい、それでは本日、タウンミーティングを開催いたしました。非常に多くのご意見をいただきました。今日いただきました意見は、このタウンミーティングの場だけではなくて、私どももちゃんと市役所に持ち帰って、担当者にもちゃんとお伝えをしていきますので、全てが全て応えることができないのは非常に申し訳ないんですけれども、皆さん方の声の一つ一つをコツコツと改善していくことが一番最終的なまちづくりにつながっていくと思っております。どうかどうか、このタウンミーティングもよらず、私、結構あちらこちらのイベントに積極的に顔を出すようにしていますので、まちで見かけましたら、市長さん、市長さんてお伝えいただければそれで十分でございますので、どうか市民の皆さんも一生懸命声を発しながら、この塩尻市での暮らしというものを幸せに楽しんでいただければありがたいと思っております。本当に今日はご参加いただきまして、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。そしてまた、塩尻市に対しましても大きなお力を貸していただきますようお願いを申し上げまして、今日のタウンミーティングは結びとしたいと思います。どうも皆さんありがとうございました。